石井地区タウンミーティング(要約)

平成２５年１０月１９日（土曜日）

【市長】　皆様こんにちは。今日は石井小学校のＰＴＡのバザーと、そしてまちづくり協議会の「いっくん」と「しいちゃん」の着ぐるみのお披露目の後、このタウンミーティングということで皆さん土曜日ですのでゆっくりしたかった方も多いんじゃないかと思いますが、このようにお集まりいただきましてありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては石井地区まちづくり協議会の会長さんをはじめ、役員の皆様方のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。このタウンミーティング、前回は１巡目ということで２年２カ月前に開催をさせていただきました。この松山市のタウンミーティング、今２巡目に入っているところです。私市長に就任させていただいてから始めたんですけども、市役所で待っているほうが楽ですけども果たしてそれでいいんだろうか。松山市は旧北条市、旧中島町合わせて４１地区に分かれますけども、その地区ごとに魅力もあるだろうし課題お困りの点もあると思いましたので我々から待っているんじゃなくて出向かせていただこう。そして各地区の魅力を聞かせていただこう。その魅力を生かしたまちづくりができれば、そしてお困りの点課題もあるでしょうからそれを聞かせてもらってできることから市政にすぐさま反映をしようということでタウンミーティングを開催しております。おかげさまで今日も前回の対応状況確認させていただきますけれども、タウンミーティングをやる事によって動き出した事柄もさまざまございます。そしてパフォーマンスでやっているんだったら１巡で終わったかもしれないんですけど、私はとにかく現地現場を大切にしたいんです。そういった思いから今２巡目に入っているところです。この松山市版のタウンミーティングですけども、やりっぱなし聞きっぱなしにはいたしません。ガス抜きのためにやっているんじゃございません。この場でお答えできることについてはできるだけこの場でお答えをして帰りますけども、例えば国と絡む案件、県と絡む案件また財政的な問題があるものについてはいったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目途になりますけども必ず地区に答えを返させていただく、やりっぱなしにはしない聞きっぱなしにはしないのがこの松山市版のタウンミーティングの特徴だと考えております。今日お子さんたち児童さんの方々も多数来られてますので９０分という時間です。1時間半ですからさすがに肩ひじ張ってると緊張して疲れてしまいますので、あまり緊張なさらずざっくばらんに、お子さんたちもいらっしゃいますんでよい石井をつくるための前向きな

議論ができればと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。
【男性】　ご提案申し上げます。前回も質問をさせていただきました。本市の文化財の防火防犯体制についてご質問いたします。去る８月道後の宝厳寺の本堂、一遍上人の立像が焼失いたしました。市長も大変残念がっておることを新聞紙上で存じております。そこで市長の指示によりまして、関係部署であります教育委員会、消防の合同チームにより調査されたいうことも新聞紙上で存じております。その調査対象は３８件であるということも報告書に書いておられます。私はほかにあります在野の宝物と申しましょうか、調べてみますと、石井地区には確か３８体あるように本に書かれております。そこで私が住んでおります星岡山の薬師堂及び薬師如来の調査をしていただきたいと思うわけでございます。本尊は約２５０年前には存在しておりまして、現在聞くところによりますと重文とかそういう指定はされておりません。なお、本日のテーマであります地域の魅力づくり、再見直しということになりますれば大変ありがたく思いますし、ご承知の愛媛大学の戎教授も提言されておりますので、ぜひお願いしたいと思っております。以上でございます。
【生涯学習政策課長】　生涯学習政策課の津田と申します。ご質問ありがとうございます。文化財のことでございますが先般新聞紙上等でも報告がありましたけれども、非常に残念なことが起こりました。それを受けまして、ご提案があったとおり教育委員会と消防で指定文化財から県指定、国指定文化財等の現状調査等を行ったところです。ご提案のありました星岡山、確か星岡古戦場という文化財の看板がその近くにあったかと思うんですけれども、文化財課とまた協議させていただきましてご連絡を差し上げて、どのようなことができるのか、文化財は文化財保護審議会とか文化財の専門の方々を集めて年に数回それを文化財にするかどうかという会合を持っております。そこにあげることができるのかも含めて、改めてご連絡いたしますのでよろしくお願いします。
【市長】　ちょっと私から。今日お子さんたちたくさん来られてるので。誇りに思ってください。天山、星岡ってすごい昔からの古い歴史があるところなんですよ。もう授業で勉強したかもしれませんが、自分のまちのことを知るともっと好きになりますから、昔からの歴史伝説があるところですからまた調べてもらったらと思います。
【男性】　石井といえばちょうど松山と合併して５０年がたつんですが、かなり人口も増えまして今６万近く人口も増えました。市街化区域ということで、かなり住居も建って人口も増えて石井公民館、石井支所、石井保育園、石井幼稚園等ができたんですが、去年、石井保育園の活用方法等に

ついていろいろ様子を伺った結果、石井保育園等で駐車場がなくて路上駐車を保育園が認めていたという証拠が見つかりまして、結果、１００メートル行ったところに臨時駐車場をつくられたみたいなんですけれども、それと石井保育園の横に市営住宅があるんですけれども、もう６０年以上たった老朽化した住宅が６～７軒建っています。このあたりも合併当時のまま放置されてるということで、あの近辺の市の活用方法等がかなり放置化されている様子が見受けられるんですが、今後石井公民館、支所等の建替え等も考えられておりましたけれども、今後６万、８万と人口が増えていく中で、市の公共施設等の運営方法等についても検討していただきたいと思うんですがいかがですか。それと先ほど前回意見への対応状況の報告の中で、高齢者の福祉ということで、今後高齢者が増えていくと思われるんですけど、その中で高齢者の立ち寄り場、寄りどころという施設が石井地区にはないと思うんですよ。そのあたりの今後改善方法の中でそういう施設等もつくってほしいと要望をもっていきたいと思います。先日そちらの保健センターつくっていただいたんですが、そちらはお子様中心の施設になっとりますので、高齢者等の施設も今後地域の中で活性化の中で考えてもらいたいと思うんですがよろしくお願いいたします。

【市民部長】　市民部の吉野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。まず私から公共施設、今後の運用方法について全体的なお話をさせていただきます。石井支所と公民館については、先ほど１巡目の返事で市長から本年度設計をして２６年６月頃から工事開始するという話はありましたが、今お伺いした石井保育園の違法駐車があったり駐車場が足りないとか、古い住宅があってそれの活用方法とかになりますと住宅のことも含めての全体的なことはいったん持ち帰りまして、どういう方向でやっていけるかを考えてみたいと思いますので持ち帰りということでさせていただいたらと思います。

【保健福祉政策課長】　高齢者の福祉の関係ですけど、松山市では「ふれあい･いきいきサロン」市内に２５０カ所ぐらいやっていただいてるんですが、そういう事業をする中で公民館であるとか集会所であるとか利用していただいております。そういう施設を利用していただいて、お年寄りの生きがいづくり、仲間づくり、そういう形で利用していただいたらと考えています。

【市長】　公共施設を何を持つか、いつまで持つかはこれからの自治体にとってものすごく大事な案件になります。例えば総合コミュニティセンターもかなり老朽化してきました。そういう中で国体も迫ってるんですけれども、今、市民会館はちょっとお休みさせていただいて耐震化工事に入ってるんですけれども、市有施設を何を持つか、いつまで持つか、いつ切り替えるか、工事に入るかはすごく松山市にとって大事な案件になりますので、お金の効

率的な使い方をするために今年の４月に公共施設マネジメント担当課長をつくった。担当課長をつくったのはすごく市にとって重要だと思っているので、公共施設を何を持って、どこまでどうするっていうのはその中でしっかりと考えていますので今回のことも参考にさせてもらってまた考えていきたいと思います。

【小学生】　この石井地区はインターチェンジとか環状線とかがつくられて松山の玄関口になっているんで、このごろ石井の周りは結構事故が起きているのでカーブミラーとか看板などをつけてほしいと思っています。

【市長】　道路に絡む案件に入ってきましたので皆さんから質問が多い松山外環状道路について話をさせていただいて、そして具体的なカーブミラーのことを話させていただきます。

【都市政策課長】　皆さんお手元にお渡ししている図面を見ながら説明を聞いていただいたらと思います。まず外環状線の場所ですけれども３３号から坊っちゃんスタジアムを通って５６号、そして松山空港ということで、区間ですけれども３３号とインターチェンジから国道５６号までをインター線と呼んでおりまして４．８キロ、５６号から松山空港までを空港線と呼んでおりまして３．８キロの距離になっております。道路の構造ですけれども道路は道路の真ん中、自動車専用の道路になります。一般部というのが側道、自動車専用道路の両側に側道ができます。この外環については国と県と市が協力をしてつくっておりまして、自動車専用道路は全部国が工事をしております。愛媛県が井門ランプから県道の中川原橋まで側道を整備します。県道から西側、坊っちゃんスタジアムがある余戸南ランプまでを松山市が側道を整備することになっております。次にスケジュールですけれども井門ランプからはなみずき通りと外環状線が交差するところ、今信号機ができています。ここについては愛媛県が整備しましたけれども今年の６月に通れるようになっております。そしてほかの側道についても３３号からはなみずき通りまでは２５年度、自動車専用道路は古川ランプのところまで２５年度中に完成するということで国が整備を進めております。２６年度については市が施工している側道、自動車専用のところの国の分も含めて２６年度末までに完成するスケジュールで動いております。ちょっと遅れるのが先ほど言った中川原橋の県道のところで一部用地買収が遅れておりまして、平成２８年度とちょっと遅れる形になっております。その先の国道５６号から松山空港までは現在国、県、市が協力して用地買収を進めておりまして、平成２９年愛媛国体の開催に何とか完成目指して頑張っておるんですが、なかなか全体までは難しいかと思いますが、現在ある道路等も含めて何とか国体のときには一部でも側道部分を利用できるような形で工事を進めたいと考えております。現在、

道路工事で大型車両あるいは騒音等で大変石井地区の方にはご迷惑をおかけしております。今、話したスケジュールで動いておりますので、もうしばらくご容赦、ご理解いただけたらと思います。以上で説明を終わります。
【市長】　そして通学路のこと、お子さんがちょっと危険を感じるというようなことがありましたけれども。
【生涯学習政策課長】　教育委員会からまずお答えいたします。まず昨年度通学路の一斉点検ということで、石井地区の皆様にも一緒に学校周辺から各小学校の通学路を点検いたしました。今、ホームページ等でどういう危険があって、どういう形で改修しましたよっていう報告もしております。昨年、お隣の石井東小学校が子ども目線で危ない箇所を見ていこうという道路マップをつくってます。これ今年も各小学校を中心にやっていますので、そういう場で子どもたちの目線でここが危ない、あそこが危ないっていうのがわかっていって都市整備と警察とかと相談しながら、例えば交差点マークであるとか、そういうことを考えていきたいと思っております。
【都市政策課長】　都市政策課の松本です。都市整備部に道路管理課あるいは総合交通課がありまして、先ほどご意見がありましたカーブミラー、一旦停止のマークとか信号機とか歩行者の部分については、愛媛県警察も関係してきますので協力して進めてまいります。今、教育委員会から話がありましたように子ども目線の交通安全マップ、２４年度石井東小学校モデル地区としてしたものを今年度は全小学校で同じものをつくって進めていることで頑張っております。
【市長】　ご紹介させていただきます。これは去年の春に京都の亀岡で不幸な通学路での事故がありましたので、松山ではそんなことあってほしくないということで、国道・県道・市道もあるんで、国、県、市の関係者、先生方、ＰＴＡの方、集まってもらって全学校の校区でやりました。ほったらかしにはしたくないので危ないところを見つけ改善させていただきました。南中学校方向への道路については路肩の白線を引きました。先ほどから申し上げている子ども目線の交通安全マップは、大体一つのご家庭に地図渡して危ないと思うところ丸してくださいっていうやり方だったんですけれども、これをすると大体子どもの声って消されちゃうんですよ。金沢に三国さんという交通安全マップづくりで長けた方がいて、私勉強させてもらいに行ったんですけれども、子どもさんにも必ず地図渡して危ないと感じるところ丸つけてっていう子ども目線の交通安全マップづくりを今年は全小学校でやることになっていますので、そうやって危険なところ拾い出して少しでも安全な方向にやっていきたいと思います。またそういう事業があったら参加してください。
【女性】　今、子ども目線の交通マップというお話がありましたが、高齢者

向けの交通マップもつくってほしいんです。これから高齢者がどんどん増えていきます。４人に一人ですか、そのくらいの数になってくると思うんですが、外環状線のお話もありました。これから道路ができます。当然信号機もつけられますよね。今ある信号機をお年寄りが渡るのにどれだけ時間がかかるか御存じですか。信号が青になってから渡りきるまでにもう赤になってしまうんです。これは国道３３号線、それからイオンの近くの信号機のあるところ、あそこも私も足が悪くて試してみました。通れませんでした。今のお年寄りは手押し車を押してますから地下道も通れません。当然歩道橋も上がれません。それでなんとか信号が青になってから渡り始めても、途中で車が通ってしまう。そういう状況が多々あります。そういうところをもう一度見直していただきたい。それと今、歩道と自転車道が一緒ですよね。そこで高齢者と自転車がぶつかって亡くなってしまう。若い子は上手なんです。自転車に乗るのにすいすいと大人をよけていきます。お年寄りを。お年寄りは自転車が来るだけでびっくりして転げてしまう。それで亡くなる。自転車に乗ってた若い子も加害者になってしまう。そういう状況があると思うんです。せめて道路も自転車道と歩道を分けるとか、そういうふうに子ども目線それとお年寄り目線、その両方を兼ねて都市整備をしていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

【都市政策課長】　都市政策課の松本です。ご意見どうもありがとうございます。おっしゃるとおり少子高齢化を迎えて高齢者の方の安全対策は非常に大切なことになっております。小学生の交通安全マップだけでなく高齢者の方もというご意見ありましたので、持ち帰って検討させていただきたいと思います。それから自転車のマナーのことですが、おっしゃられたとおり全国でいろいろな事故が起こっております。松山市では小学生を対象に自転車免許制度を開始して、正しいルールの普及、教育に努めることや、警察や交通安全協会、交通指導員の方などと連携をして、特に自転車のルール、マナーをよく知っていただく活動をしております。サイクリングロードのこともありまして、総合交通課が取りまとめてそういう普及啓発をしておりますので今後もやっていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

【市長】　信号については警察が管轄になりますので、危険な箇所については私どもに言っていただいたら、警察にこういうご意見がありましたと伝えることができます。危険な箇所とかありましたら地図持ってきておりますので言っていただいて、この信号短いと思いますよって言っていただいたら我々から警察に伝えますのでよろしくお願いいたします。

【男性】　外環状についてお伺いします。外環状、南警察署の前から幅６０メートルの環状線ができました。以前はその真ん中あたりに横断歩道があっ

て信号がついていました。北井門が分断されたんですが南側と北側とその横断歩道で行き来ができました。ところがそれを失くされました。どうせえというかと言いますと、３３号の南警察署のところまで回れということです。南側にいるちっちゃな子どもが石井小学校へ歩いて通学します。ちっちゃい子がランドセルしょって手荷物持って、雨でも降ったら傘をさして、これから北風吹いたら寒いです。それが３３号まで行って帰ってですから１キロぐらいは歩かされます。それから南側には平成脳神経外科それから門田内科、病院があります。ここへ北側の北井門それから北土居、東石井、それから居相あたりのお年寄りが車いすを押して病院へ通います。この人たちも車いすで３３号の横断歩道を行って帰ってですから１キロほど歩かされます。先日、道路端に看板を見つけました。立派な看板が出てました。１枚２０～３０万するんじゃなかろうかと思うが２枚ほどあります。そこの看板に何が書いてあるかと言いますと、道路ができたら大変便利ですと書いてあります。道路が渋滞すると運転手はいらいらと書いてます。渋滞がないとすいすいと書いてます。地元の人の生活などどうでもいいようなことが書いてあります。松山市は子どもやお年寄りの道路行政ではないんでしょうか。ちょっとお聞かせいただきたいと思います。以上です。

【都市政策課長】　管轄は国になるかと思われるんですけれども、まず具体的な場所を後ほど終わってから住宅地図で教えていただいて国、県、市で協議をさせていただく、持ち帰りをさせていただきたいと思います。今回外環状線、先ほど話しましたように３３号から空港まで伸びてまいります。非常に幅の広い道路です。今現在は北側と南側で行き来がしやすいところが、どうしても横断するところをたくさんつくるとそれだけ危険なところが増えることもございます。地元の地域の方々と話し合いをさせていただいて進めてきているところもございますので、今のご意見は持ち帰りをさせていただいたらと思います。

【市長】　私からお願いなんですけれども、皆さんから例えば道のことで言われるときに、国道は３３号とか１１号とかわかりやすいと思うんですけれども、どこが国道でどこが県道でどこが市道で、私道もありますよね。なので、どこの道路がどことかわからないと思いますので、まずは我々に言っていただいて、県道であれば県に話を我々から持っていきますし、国道でしたら我々から話を持っていきますし遠慮なく言っていただけたらと思います。ただ我々からも言うんですが二方向、ツーウェイというか、我々からも言うんですけれども実際に不便を感じている方から県や国に言っていただくとより伝わりやすいんですよね。受け取るほうはものすごい大仰なことを考えてしまって、そんな大変なことはできませんってなったりするんですけれども、

そうじゃなくて、ここをちょっとこうしてもろたらええだけやがねみたいなこともあります。ですので我々からも伝えますし、また皆さんからも直接言っていただくと一番効果的と思います。また、私こういう思いもあるんですけれども、このタウンミーティングをやっているのは、もっと市役所は市民の皆さんの役に立つ所で市役所でありたいと思ってます。そして皆さんからご相談受けたら、こういうやり方はできないんですけれども、こういうこともできるんですよとか、もっと市役所の敷居を低くしていきたいんですね。なので、このように来させていただいて、できることからすぐ反映する形でやらせてもらってるんですけれども、お願いは市役所と市民の皆さんが反目するような関係だとよくないと思うんですね。うまく連携ができることがよりいいまちづくりにつながっていくと思いますので、あまり敷居を高くなさらずに気軽に話をしていただければと思います。よろしくお願いします。

【小学生】　石井小学校の校区、特に私の住む東石井では放課後遊べる公園が少ないと思います。さらに石井地区の少し離れた公園に行くと、先生からも時々話を聞くんですが、怪しい人がうろうろしているとか、高校生くらいの人たちがたむろしていて小学生がうまく遊べないような環境になっていると聞いたことがあるので、できたら公園を増やしてほしいことと、もう少し小さい子でも安全に遊べる公園になったらいいと思います。

【都市政策課長】　ご意見ありがとうございます。東石井には公園として東石井三丁目に東山古墳公園がありますし、ちょっと東に星が岡公園がありますがちょっとせまいですね。なかなか新設の公園をつくるのは土地を買うとかで、むずかしいところがあります。今ある公園については地元で管理協力会をつくっていただいて、地元の方に草とかのいろいろお世話をしていただいております。ちょっと怪しい人がいるというのは困ったもんだと思いますが、治安の問題となってくると、これは警察に届けないといけないんですけど、そういったことがあれば学校・市役所に連絡したほうがいいんですかね。ちょっとバトンタッチします。

【市長】　これ言ってもらったら警察に言えるんですよ。パトロールしてもらえるようになります。

【市民部長】　その話をこれからと思ったんですけど、私どもも警察にこういうときはどうでしょうかと話しております。近くの交番とか警察署に、怖かったら気になったらすぐに連絡していただいたら様子をすぐ見に行きますと警察から返事をいただいておりますのでよろしくお願いします。

【男性】　公園には防犯カメラをしているんでは。

【都市政策課長】　公園には防犯カメラしているとこもあるということで、今後ともそういう対策をしていきたいと思います。

【男性】　東石井の東山古墳公園の管理をしております町内会ですけど、今の話は先生から聞いたということだったと思うんだけど、皆さんでそういう場面にあった人はいます？手を挙げてみて。どういった状況だったのかな。東石井には一カ所しか公園がないんです。それで防犯カメラも設置しているし、そして東山古墳公園はどちらかいうと石井東小学校の子どもたちがたくさん利用していると、それと中学生がいくらかたむろはしているという状況はあるんですけども具体的に気をつけて管理はしておるし皆で青色防犯パトロールもやっているんで状況だけちょっと教えてほしいなと思います。

【中学生】　私が東山古墳公園で見かけたことなんですけど、２回ありまして一度は私が友達と公園に行ったとき中学生がＢＢ弾という鉄砲のおもちゃで遊んでいて、周りにも小さな子がたくさんいて当たったら危ないなということで、そのときは私は学校に連絡させていただきました。二度目は私がまたその公園で友達と遊びに行ったときですけど、中学生か高校生ぐらいの不良っぽい人がたまっていて非行っぽいこともしていて、そこで小学生が遊ぶのはやっぱり怖いなと思いました。

【市長】　はい、よく勇気を持って言ってくれたと思います。こういうことがすごく大事だと思うんです。今、すごくいい意見交換だったと思うんですけど、ここにいるすべての大人が今、情報共有したと思うんです。やっぱり怖かったら無理して声をかけることもない、例えば警察にお任せするといった方法もあると思うんですけど、やっぱりそんなことしたらいかんよとか、周り小さな子がおるんやけん気をつけたらって声かけることが一つの抑止力になると思いますし、今ちょっとつながりのない世の中になっているんですけども、つながりがあれば防犯のことにしても子育てのことにしても例えば介護のことにしてもプラスの面が出てくるので、今みんなで情報共有ができたと思うんで、すごくいい意見交換だったと思います。また地区の方々にもお力いただきながら、また時には警察の方にも協力してもらいながらやっていければと思います。

【小学生】　公園でサッカーや野球などのボール遊びをすると小さい子には危ないかもしれないんですが、今ボール遊びができるのが学校だけで、サッカーのゴールなども数が限られています。椿公園などでもボール遊びをしていいようにしてほしいんですが、どうですか。

【都市政策課長】　都市政策課の松本です。ご意見ありがとうございます。まずボール遊びは基本的に松山市内の街区公園はしてなかったんですけども、平成１８年度から順次できるようにしています。七つの公園なんですけれども、最近でいうと今年度、古川公園が明後日ネット工事を終わっ

て検査をするようになっております。これにつきましては各地区の公園の管理協力会と松山市の公園緑地課が話し合いをさせていただいて検討をするということで、確かに遊びたいという方それから近所の方はやっぱりちょっと危険とまではいいませんけども音とかいろいろあるというところもありますので地域の方と市も協力して進めたいと考えております。

【市長】　松山市役所には市長への直接のメール制度がありまして、二つあるんですよ。ボール遊びしたいですっていう声と、それもすごくわかるんです。公園の周りにお住まいの方からうちの家にボールが飛び込んでくるんです。平気でうちの家に入ってくるんです。注意してもやめてくれんのですっていうこともあるんですよ。結構、一方の声だけじゃなくて色んな人の声があるところが公園の使い方の難しいところです。今できるだけいろいろと地元の方とお話させてもらってボール遊びのできる公園を増やしているところです。東石井の県職員のグラウンド利用の仕方について追加で説明させていただきます。東石井地区には東石井三丁目に東山古墳公園があります。隣に東石井グラウンドといいまして、愛媛県職員の福利厚生施設、一般開放もされている。使用を希望する場合は、利用時間は朝の８時半から７時半（日没）までとなっておりまして、使用料無料だそうです。ぜひ有効に活用していただけたらということです。使用を希望する場合は書面による事前予約が必要ですけど、施設を管理している愛媛県人事課の職員厚生室にお問い合わせをいただいたら申請書は郵送してくれるということなので、使えるようだったら、使える方はそちら使っていただいて子どもとうまく棲み分けるというか、みんなが集中しないような形で使っていければと思います。

【中学生】　僕は夜間のまちについて意見を述べさせていただきたいと思います。僕たち中学生は塾に通っている人も多くて、また大人になっても残業とかで夜帰るのが遅くなるときもあると思うんですよ。そのときに大きい道路、３３号線とかまではバスとかで帰ってこれると思うんですけど、そこから自分の住む小さい区域に入っていくときにちょっと暗いと思うんですよ。大人ならともかく僕たち中学生なら暗いところで、先ほど話が出た不審者とかが暗かったらいやすいけど電灯とかで明るかったらそこは対策できると思うんですよ。だから僕は電灯の数を増やすといってもちょっときついところもあると思うんで、個人の家庭で外に電灯というか庭のところに電気がついている家庭とかあると思うんですけど、それをみんなでつけていこうみたいな呼びかけを石井地区内でやっていけばそういう不審者とかも減ると思うし、僕たちが帰るときも安心して帰れるいいまちになっていくのではないかなと思います。でもこれに関しては多少個人

の財産権とかもあると思うので、強制はせずに呼びかけ程度でやっていったら僕はいいまちになっていくのではないかなと思います。終わります。

【市長】　はい、市民部長お願いします。これいいアイデアだと思いますよ。

【市民部長】　市民部の吉野です。どうもご質問ありがとうございます。私どもまず申し上げれるのが防犯灯です。部活から帰るときに暗い道があるので怖い危ないということで、今行政でできることといえば防犯灯のお話をまずさせていただきたいと思います。この防犯灯は新設につきましては市が松山市防犯協会を通じて無料で設置しておりますが、後の維持管理とか電気代は地元にお願いしています。地元町内会の代表者からの申請にしていただいておりますので、まず家の方か学校の先生にご相談されて道が暗いので防犯灯の話をしてもらいたいというのを相談されたらどうでしょうか。というのがおっしゃいました呼びかけですね、近所の人へのそういう電気について呼びかけも含めて家の方や学校の先生から始まって町内の方を巻き込んで、またまちづくり協議会なども話に入ってもらう方法もあろうかと思いますのでよろしくお願いしたらと思います。

【小学生】　私は家の近くにふれあいカメリア通りがあって、時々お遣いに行ったりして押しボタン式信号を利用するのですが、特に大人の方や自転車で通学されている方が赤になっているのに渡るのがちょっと気になるのと、通学路で危ないところがあるので、車が通るのを少しやめてほしいというのがあって、看板があるのですが守られていないのでそこを改善してほしいと思います。

【市長】　看板というのは例えば何時から何時までのあいだは入らないでくださいっていう看板？どんな看板かわかるかな。

【小学生】　学校の前にあるんですけど青い看板で７から８って書いて土日を除いて７時から８時は通らないでくださいという車の看板です。

【都市政策課長】　カメリア通りきれいな道路ができてよく人も歩いてジョギングしている人もいると思いますけれども、今おっしゃられた基本の交通マナー、先ほど小学生対象にということを話しましたけども、大人の方が見本を見せないことには子どもはそれを見てまねをどうしてもしてしまいます。当然市でも大人の方を対象に交通安全のマナー啓発について県の警察とか交通安全協会と協力してさせていただいております。あと自動車の通学の時間帯だと思うんですけど一方通行的なものも警察の管轄でしているものだと思います。全体としてはまず交通安全を子どもだけでなくもちろん大人の方が率先して見本を見せるということが大事だと思います。

【市長】　学校の側の規制の看板が出ている件については南署に言っておきますね。それと信号赤だけれども渡っているというのは、どっかの信号っていうんじゃなくて色んなところの信号ってことかな。わかりました。結構子どもは見ているもんですね。気をつけないかんなと思います。本当お子さん石井の方はすごく動かれる印象ですけど、大人も動かれるし子どももすごく積極的に発言をされるので石井の未来は明るいなと感じているところです。

【男性】　ちょっと言いにくいことがあるんですけど、私これ２年間かけて言うとんです。競輪宿舎があったその上にテニス場があるんですよ。それは職員共済の。そこを空いとるときに星岡の老人クラブのゲートボールや、さっきいうた子どものサッカーはできんけれどもボール蹴りはできるんですよ。それを活用させてくれんかいうて私２年越しで言うとるんですよ。ところが星岡ぎりに貸すわけにはいかんのやと言うわけですよ。せっかくそこにあるんやから空いとるときにはやっぱり貸して、地域住民に貸すというそのぐらいのことはしてええんじゃないかと思うんです。ただですね２年間やって正確にこれでいかんのじゃという回答もろてないんですよ。だけどいかんじゃなしにね、貸してくれる方法を考えてほしいんですよ。私やったら考えると思うんです。そこをよう言うといてくださいや。

【市民部長】　すみません。持ち帰らせていただくというお返事しかできんので、誠に申しわけありませんがよろしくお願いいたします。

【男性】　ええ方法でよろしくお願いします。やっぱり市役所はもっと空いとるときは地域住民・子どもに貸してやると。その代わりその間の管理は町内で責任を持ってとかにして、やっぱり活用をする方法を考えることが今の時代の中では大事じゃないかと思うんです。言いにくいことを言うとんです。

【小学生】　椿公園の遊具に人権につながる落書きが書いてあるんですけど、その遊具に登ったりして書いているので、その遊具に書けないように遊具のつくり方を変えてほしいと思います。

【都市政策課長】　具体的に場所をお聞きして、今日帰り確認をして公園緑地課と協議をさせていただきたいと思います。

【男性】　まちづくり協議会事務局で北土居町の町内会長ですが、実は３年ぐらい前からお願いしとることですが、石井小学校の子どもさんがおられるからちょうどいいんじゃないかと思いますけれども、石井小学校の東側からずっと北井門に抜ける道路がありますね。北土居町のエリアになるんですけれども通学路の関連で昔は石井地区は穀倉地帯で何も危なくなかったんですけれども、現在は反対に車がたくさん通っている状況があり

ます。３年ぐらい前にレオパレスの西側に水路があるんです。これお願いしてるんです。何回も言っているんですが道路建設の関係と河川水路の関係ですけれども、つけますというお答えはいただいてるんですが、できるだけ早くつくってやって、あの場所だけでも子どもの退避場所ができるんやないかなと。そこだけちょっと広がるんですけれども将来はあそこをずっと広げていってもらわないかんという気がします。だから早くあそこをつけて一応柵はある、子どものガードですかね、それはつけられるんじゃないかとそういう話はいただいておりますから、早く市長さんやっぱりお願いしてってことで、やったら子どもはちいとでも事故が少なくなるんかなと、どうかよろしくお願いをしたらと思います。

【市長】　改めて場所を確認させていただいたらと思います。タウンミーティングでこういう意見が出たということで一般的な話をさせてください。私も皆さん御存じのように一市民からこの立場をいただいた人間なんですけれども、小学校の皆さん中学校の皆さんも道路があって水路があると狭いなあ、蓋してくれたらいいのにって思うかもしれないと思うんですけど、これは実はちょっと簡単にいかないところがあるんですね。水路を使っているのは大体農業をされている方が多いんですけれども、農業をされている方は水路の水がちゃんと流れんといかんので物が詰まったりすると困るんですよ。そうなると蓋はできるだけせんほうが日ごろから見られるし、詰まったらすぐにのけられるっていうところがあるんですね。なので農業をされている方、水路を使っている方のオッケーをいただけて、ご協力いただけてじゃないと基本的にはなかなか水路に蓋をするのは超えなきゃいけないハードルがあるというのと、もう一つ難しいのは、水路に蓋をすることによって道が広くなってそこが抜け道になって逆に車がスピードを出して通るようになって危なくなる例もあるんですよ。なので実は私も蓋してくれたら広くなるのにということも確かにあるんですけれども、全部がそうとは言えないんですけれども中にはそういうこともクリアしないといけないところがあるので、そんなところを悩みながら大人はやっているというところがあります。でもお子さんというのはすぐ大きくなっちゃいますから、通学路のことにしても交通マナーのことについてもやっぱり子宝って言いますから、子どもはすぐ大きくなります。将来の日本にとって大事な存在ですからほったらかしにするんじゃなくて、できるだけ早くやりたいと思ってますのでまたよろしくお願いします。

【女性】　すみません、ちょっと先ほどの落書きについて子どもさんたちに言いたいんですが、あと先生に。すみません、私元教師してましたので。確かに公園に落書きあると思うんです。人権にかかわる落書き。それを見

つけたときあなたたちどうしました？そのままほっときました？ほっといたんですか？言っただけですか？確かに市の方が行って見ることも大事ですけどそれを見つけたらまず自分たちで、それがほかの人に見せたくないものなら消そうと思いませんでしたか？

【市長】　それはなかなかあれじゃないですか。

【女性】　いや私はそういうふうにさせてきたものですから。

【市長】　やっぱりお子さんだから。

【女性】　教師もです。先生もそこでそれがあったら自分たちの子どもたちがそこにしてたら、あったら結局自分の学校が汚されてるような気が私たちはしました。だから子どもたちと一緒に行って消しました。だからそういうふうな、確かにさっき市長さんおっしゃいましたが、お互いの対話をここでするっていうのもあると思うんです。それも大事だと思うんです、それが。だからそういうときにそれがあったらまず市に頼む前に自分たちでも何とかしなきゃならないんじゃないかなと思うことも大事なんじゃないかなと人権教育として思いました。

【市長】　はい。ご意見承らせていただきます。さまざまご意見あると思います。でも僕は子どもが受け取って今日なんとかしたいっていう思いで言ってくれたんだと思うんです。そのように受け取らさせていただきたいと思います。

【小学生】　今も緑を増やす活動をしていると思うんですけど、もう少し花や木を増やしもっと緑があふれる石井のまちになってほしいと思います。

【都市政策課長】　ほんとにご意見ありがとうございます。どんどん緑、花、たくさん増やしていきたいと思います。御存じかと思いますが先ほど言われた北久米和泉線カメリア通りとか古川にあるはなみずき通りでは、道路の管理を地元の方にしていただいて、いろいろ木や花をしていただいております。松山市としても公園緑地課が所管しておりますけれども色んな木や花を石井地区にも増やしていきたいと考えておりますのでこれからも努力していきたいと思います。

【市長】　奨励金制度があるんですよ。皆さんが家の庭や地域の花壇に緑でいっぱいにしたいとか、または花を増やしてほしいといったことに対して奨励金制度、費用や材料を差し上げることを行っています。まちの緑、生け垣や庭木などを増やすようにしています。公園緑地課に緑のまちづくり奨励金がありますので、そちらに問い合わせていただいたらと思います。学校花壇コンクール石井東小学校さん頑張ってくれていまして優秀賞獲得しています。そしてコミュニティモデル花壇では古川の町内会や天山悠

遊クラブさんが参加されていますので小学校中学校の皆さんにも頑張ってもらったらと思います。
【男性】　３～４０年前に民間が開発した市街地かなり前に開発されて都市計画法、開発許可がマッチせずに現在も規格外になっとるということで開発道路が移管できない。市に所有権が移せないということで今、所有権が移されておるのが社有地とか民間の所有地になっとると。そういうところでは交通量は現在非常に多く通るようになっております。それとまた開発道路の横には緑地帯とか公園とかあるんですが、民間の所有地いうことで市のほうの移管できない児童公園とかにもできない。それとその道路にはインフラ設備の水道も下水道もできないということで、ちょっと不利益に非常になってきております。それにどういうふうに対応できるか。かなり前の規格なので道路には例えば電柱が建っとる。そういう関係で移管できない。現在、地目が公衆道路になっとる関係で税金が固定資産税がかからないということで所有権も所有者も移す必要もないということで宙ぶらりんになっとる地域が非常に多いんです。石井地区、特に土居町では４カ所５カ所あるんです。そういう対応、今後どうしていくのかをお伺いしたいと。
【都市政策課長】　都市政策課の松本です。ご意見言われたとおり松山市の市道には認定基準がございまして、例えば基本的には４メートル以上のところであるとか、交差点部分には隅切が必要であるとか基準があります。その中で松山市では個人とか法人の名義の土地について舗装をする私道整備事業を道路管理課で行っております。そういった整備については市としてご協力ができることがあります。市道に引き取れるかは具体的な場所も教えていただいて検討させていただいたらと思います。
【下水道政策課長】　下水道政策課の青木と申します。お困りの点はそういう道路の中の下水排水の事だと思うんですが、先ほど道路でもお話がありましたように、本来私道はその沿線の方で整備をしてもらうことが原則ですけれども、皆さんの同意をいただいて工事をすることができるということになれば、一定の要件、何軒以上っていうのはございますけれども道路と同じように市が一定整備することもできますので具体的な場所をお聞きして、ご検討させていただきたいと思っております。以上です。
【小学生】　まだ私は１軒しか見たことないんですけど、多分数年間人の見たことのない家があって、そこのドアが一年前ぐらいに割れてて低いところなのでちょうど小さい子たちが通ったりすると触ったりしたら血が出たりして危ないのでそこがどうにかならないかなと思います。
【都市政策課長】　都市政策課の松本です。後ほど場所を教えていただい

たらと思います。古くなった老朽化した家屋があることだと思いますので、どういう対応ができるかと検討させていただいたらと思います。

【市長】　空き家対策って聞かれたことがあるかもしれないけど、これもすごく今悩みながら難しいところもあるんでやってることなんです。もうお住まいにならなくなったお家ってやっぱりあるんですね。放っていると道路に崩れることがあるかもしれない。でも、その空き家になってるんだけども個人の住宅なんですよ。その人の財産なんですよ。だから勝手にこっちが危ないからって勝手にすることはできないのがあって、どこの自治体もちょっと悩みながらやってるっていうところなんですけども、だからといって何もしないわけではないので安心してください。ちゃんと場所教えてもらって、できる対処したいと思いますのでよろしくお願いします。

今日は時間が近づいてまいりましたので、まとめとさせていただきたいと思うんですが、今日多数のご意見いただきましてありがとうございました。途中で申し上げましたが石井はほんとに大人の方もよく動かれるし子どもさんも立派だと感じた次第です。今回お答えできなかった事柄については持ち帰らせていただいて、そして市役所内で検討させていただいて1カ月を目途に必ず地区にお答えを返させていただきます。また皆さんに見ていただきまして意見のやり取り、1回目のタウンミーティングを経てこういう答えが返ってきた。そしてまた皆さんからこういうご意見いただいた。こういう意見を交わせるような形であり続けたいと思います。できるだけ早く皆さんの声をできるところから反映していきたいと思います。ただ、ちょっと心が痛むのは今日お子さんたちから公園をつくってくださいっていう話がありました。高度経済成長の時代だったら日本の人口も増えていく経済もよくなりそうだっていうときだったら、わかりました、じゃあの辺の土地買って公園つくりましょうっていうことができたかもしれないんですけれども、今とっても難しい時代になってきております。少子高齢化といって子どもさんの数は少ない。だから将来働いて税金を納めてくれる人の数は少なくなってるんですね。それで高齢化。今まで頑張って今の日本を築いてくれた方々がお年を召してくる状況があります。今、国自体は1千兆円の借金を抱えている。小学校や中学校で勉強すると思うんですけども、国から地方交付税交付金とか国庫支出金ということで地方にお金が回って来るんですけども、もともと仕送りをしてくれるところが苦しいんですから仕送りがこれから増えるとは考えにくい世の中です。でも皆さんのニーズはさまざまありますから、市役所としてやらなきゃいけないことがあるんですけども、何でもできる時代では残念ながらなくなってきております。とにかくお金ないっていいって思考停止になっちゃうと何

にもできませんので、そうじゃなくて知恵と工夫でやれることをやっていく。そして何にもやりませんじゃなくて、皆さんの声に耳を傾けることによって優先順位をつけさせていただいて、今、やるべきことは何なのか、選択と集中でしっかりとやるべきことをやっていきたいと思いますので、また皆さん方のお力添えをよろしくお願いいたします。今日ちょっと質問できんかったなあ、時間がなかったなあ、ちょっとなかなか言いづらかったなあって言う方は市長への直接のメール制度もありますので、そちらへご意見をいただけたらと思います。今日は活発な意見交換をいただきまして本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

— 了 —